CHINA TOURISM

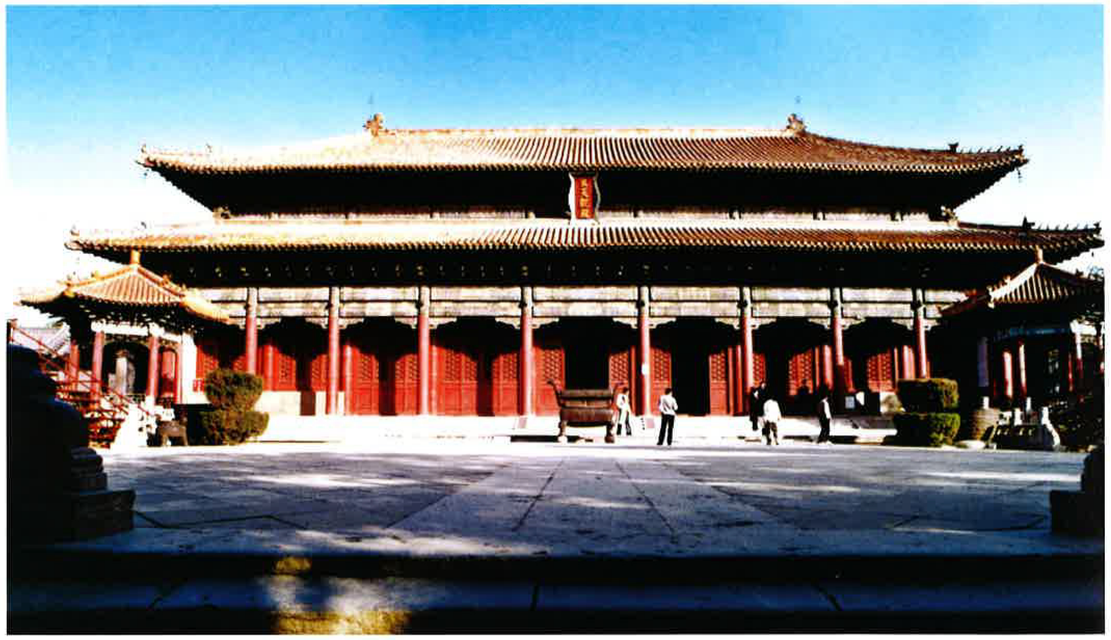
中國旅游

中国

世界遺産

泰山

中华人民共和国国家旅游局
CHINA NATIONAL TOURISM ADMINISTRATION



泰　山　世界文化と自然遺産

泰　山

泰山は山東省の中部に所在し、正面は孔子の古里・曲阜と隣り合わせをしており、後は山東省の省都・済南をひかえ、主峰の海抜は1545mである。泰山の風景名所は泰山の主峰を囲むように放射線状を呈していて点在し、自然景観と人文景観とが融け合わせて形成されている。泰山は高くて雄大である。特に南斜面は、勾配が急で険しく、主峰を囲むように峰々が立ち並び、奇特、険阻、秀麗、幽邃、広大などの特色に富んでいる。泰山は中国の衡山、華山、恒山、嵩山とともに「五岳」と併称され、「五岳のトップ」、「天下第一の山」として絶賛されている。泰山は昔から社稷安定、政権強固、国家繁栄、民族団結を示すシンボルとされており、歴代では如何なる人であろうと、皇帝の位につくと先ず泰山詣でを行った。泰山もこれにより皇帝から封禅・祭祀を受けた唯一の名山となっている。泰山が自然の山に過ぎないが、文明大国・中国の歴代最高統治者から封禅と祭祀を受け、しかもこれがほとんど中国封建社会全体を貫く数1000年にわたって受け継がれたことは、世界でも唯一無二の精神文化現象と言ってよいだろう。泰山を無視して敬い慕わなかった帝王や宰相、名人と大家は先ずいない。「泰山に登って天下を小にす」という孔子の言葉は美談として伝えられており、杜甫の「一覧のもとの衆山は小なり」は千古の絶唱となっている。泰山を称賛する歴代の詩はなんど1000首にも上っている。ここから見ても泰山は歴史の名山だけに留まらず、さらには文化の名山でもある。道教文化、仏教文化と儒家文化は中国の3大古代文化といわれている。泰山に残った古代建築や書画・石刻、有名人の題辞と数多くの文物旧跡などは、この3大古代文化を代表するものであると言っても過言でない。1987年、泰山は文化遺産と自然遺産の選考標準に基づいて、『世界遺産リスト』に収められるようになった。

玉皇頂

玉皇頂とは、泰山主峰のてっぺんにあたるところで、名前はそこに立っている玉皇廟という道教寺から取ったものである。玉皇廟は、古は太清宮または玉帝観と称されており、築造年代はもう考証できなくなっているが、たしかに明の成化年間(1465)に建て直された。全体は山門、玉皇殿、観日亭、望河亭、東西道房(道教僧の部屋)からなっており、本殿に祭られている銅像は、道教が信じている玉皇大帝である。その真上に掛かった「柴望遺風」扁額から見ても分かるように、遠い昔の皇帝が薪を燃やし、天の神や山川諸神を祭ったところである。本殿前には、泰山の一番高いところであることを示す立石「極頂石」が立っている。1921年、石の欄干を増築するときに、王均が題した「極頂」の2字がその上に刻されている。立石の西北側に「古登封台」碑刻がある。歴代の皇帝が泰山に登って、泰山祭祀をするために設けられた祭壇である。東側の観日亭と西側の望河亭からは、それぞれ「日の出」と「東へ流れる黄河」が楽しめられる。廟前にある「無字碑」(文字のない碑)は、言い伝えでは秦の始皇帝が封禅したとき、または漢の武帝が泰山詣でをした時に立てたものとされており、碑内には金箔玉函が納められているとの言い伝えから、また「石函」の名で称されている。玉皇頂前を蛇行する小道の両側には「五岳独尊」をはじめ、著名な石刻がずらりと立ち並ぶ。東南部に広がる空地は平頂峰と称されており、そこに立った乾坤亭は清・康熙23年(1684)に築かれたもので、上には「孔子小天下処」の刻がある。

十八盤

十八盤とは、曲がりくねって走る山道のことで、対松山の北にあり、泰山登頂でも最も険しい1区間である。合わせて1360段の石の階段があり、泰山のシンボルの1つとして観光客に深い印象を残している。道を挟むように、東側は飛龍岩、西側は翔鳳嶺とそれぞれ立ち並び、いずれも切り立った崖で、その間を縫うように上へと伸びる階段状の小道は、まるで天上界にでも上る梯かと思わせる。全部は3区間に分かれる。開山—龍門区間は割合緩やかな「慢十八」、龍門—昇仙坊区間はそんなに急でも緩やかでもない「不緊不慢又十八」、そして昇仙坊—南天門区間は極めて急な「緊十八」区間とそれぞれ称されている。「緊十八」の西側には、横向きに寝ていて、鼻が高く頭がはげ、慈悲深くて来客を歓迎するかのような仏像の格好をした崖がある。

泰山の玉皇頂

泰山の天街に鳴り響く太鼓の音

碧霞祠

碧霞祠は泰山頂上に築かれた最大建築群で、中国の国文化財に指定された全国最大の道観(道教寺)である。宋の大中祥符年間(1008-1016)に建てられた2ブロック構造の建物。中軸線上には照壁(目隠し壁)、金蔵庫、南神門、大山門、香亭、大殿などの建物があり、両側はそれぞれ西神門、鐘鼓楼、東西御碑亭、東西脇殿が配されている。南神門外側にある金蔵庫は、俗に火池と称され、主に参拝者が線香を燃やすところとして用いられる。火池を目隠した「照壁」の上には、「万代瞻仰」と大書した文字がある。廊下東西両側の壁の神台には、青竜、白虎、朱雀、玄武の四方護衛神の銅像が奉納されている。本殿の真ん中は泰山「元君」の金メッキした銅像、両側は眼光と送生2神の銅像がある。

後石塢

泰山北天空山の麓にあり、泰山頂上の北天門から右に曲がり、独足盤に沿って行く、または北天門経由で堯観峰の小道に沿って進めば到着する。周囲を絶壁に取り囲まれ、峰が険しく谷が深く、奇怪な形をした石が転がり、鍾乳洞が奥深く幽邃なところである。周囲は樹齢の長い松の木は生い茂っており、絶壁に寄りかかって生えるもの、渓流の辺に生えるものと様ざまな種類のものがある。あたりの有名な見どころとしては、独足盤、古松園、元君廟、九竜崗、天燭峰などが挙げられる。名高い姉妹松、臥虎松、燭炎松などは、いずれもこの近くにある。

南天門

泰山の突き当るところにある。海抜は1460mで、泰山登頂の出発点である紅門宮までは9km。古は「天門関」、または「三門

孔子登臨処

関」と称され、1264年ころ、張志純道士によって創立された。右左両側の飛竜岩と翔鳳嶺に挟まれるように建てられた楼閣式石づくりのアーチ形門で、壁は赤く塗られ、黄色い瑠璃瓦を敷き、山の斜面に沿って展開されている。アーチ形門の上方には「南天門」と大書された額が掛かっており、門の両側には、「門避九宵仰歩三天勝跡、階崇万級俯臨仙嶂奇観」と書いた対聯(めでたい対句)が貼られてある。南天門をくぐると、天上界に踏み入れたと言われており、視野もかつぜんと広げられる。

天街

天街とは、西の南天門から碧霞祠の西神門までの、泰山頂上を走る割合平坦な観光歩道である。全長は600m。沿道には南天門、天街坊、象鼻峰、白雲洞、青雲洞、孔雀崖、北斗台、碧霞祠などの見どころがある。南天門はその入口に当たっている。1949年から1980年代までの間、路面改良、観景台や安全壁の増設などによって、天街の観光条件はいっそう整えられるようになり、毎日に観光客で埋め尽くされている。天街にはまた多くの宿泊と買い物の施設を集めている。これらのホテルや商店、店舗などはいずれも古代のものを蘇らせたものである。

普照寺

泰山登頂の東路と西路の真ん中、凌漢峰の麓に所在しており、泰安市街に通じる普照寺路は寺前を通って走っている。寺名の普照寺は「仏光普照」から取ったもの。寺は六朝時代(222-585)または唐代(618-907)の創立とされており、後世には増改築があった。寺の前後にも美しい峰々があり、樹齢の長い松の老木が生い茂る。これを称賛するには、古代の詩人が書いた「門前幾曲流水、寺後千尋碧峰。鳥語渓声断続、山光雲影玲瓏」詩がある。馮玉祥先生はかつて1930年代に2回にわたってここで隠棲した。寺西南にある「大衆泉」は、馮玉祥先生によって掘られたもの。

中天門

泰山登頂の東路と西路とが交差する黄行峰の急斜面に築かれている。ここまで到着すれば、頂上まではまた半分の道のりが残る。清代に築かれた2柱1間構造の石坊式門で、泰山登頂には避けて通ることのできないところ。古代の泰山は虎が多かったため、門の北には黒虎の神を祭る廟が残っている。廟の中には、鞭を手にして虎に乗った福の神・趙公元帥の彫像が供養されている。東側、西南と西北はそれぞれ古式茶楼、ホテルの「中渓賓館」と中天門ロープウェー・ストップがある。中天門嶺は高くて視野が広いため、日の出や夕日を楽しむのに最適な場所となっており、西側の鳳凰嶺に上れば、泰州の美しい市街景色を楽しむことができる。

泰山の十八盤

日観峰

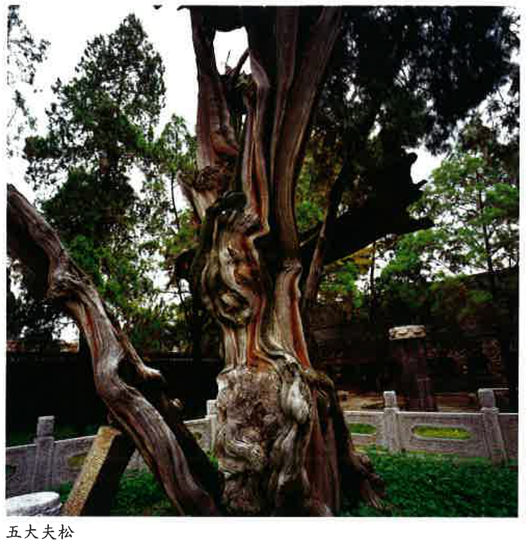
玉皇頂の東南に所在しており、古は介丘岩と称された。日の出を楽しむ場所としても利用できる峰。言い伝えでは、頂上に上れば、西は秦、南は越を遠望できるところから、秦観峰または越観峰とも称されている。峰の西には唐・宋時代の封禅の跡地があり、唐の高宗も唐の玄宗も宋の真宗も、ここで壇を設けて天の神を祭ったことがある。『岱史』の記載によると、明の洪武初年(1368)、ある村人は山中で玉の箱を拾った。中には宋の真宗が山の神を祭ったことを記した16枚の玉簡が納められているという。明の成化18年(1482)にも、雨水にさらされた峰の一角で玉簡が発見された。頂上には、昔は迎旭亭があって、民国年間には気象観察センターが設けられた。1984年、崖の東側に日の出を楽しむための全長30mの観日回廊を増築した。北側の大きな岩山は拱北石または探海石と言う。ここに上れば、日の出の壮麗さはもちろん、山景色や雲海なども楽しめられる。これを称賛するには、李興氏の「才聴天鶏報暁声、扶桑旭日已初明、蒼茫海気連雲動、石上遊人別有情」漢詩がある。

月観峰

南天門の西にあり、日観峰と相対峙して聳え立ったことから名づけられた峰。ここから越の国(今日の浙江あたりの地)を遥かに望めるという言い伝えから、又の名を越観峰と称されている。泰山と古代の越の国とは1000里にも及んだ距離があり、そこまで見えるという話は、人々の願いに留まっているに過ぎないが、晴れた日には、確かに山東省の省都・済南の夜景を楽しむことができる。山頂には月観亭があり、南側は泰山ロープウェーの南天門ストップに当たっている。天橋から南天門までは通道がある。北側には、相対峙していて立って門の形をつくっている巨石がある。西天門というところである。鐘惺氏は彼の『登泰山記』に、「泰山に天門が3つあり、西天門は自然の岩石でできているもので、本当の天の門と言えよう」と記述している。月観峰は月見の素晴らしい場所だけに留まらず、夕日や黄河の流れを観賞するための最適な場所にもなっている。

五大夫松

雲歩橋北側の五松亭傍らにある松。一側には「五大夫松」と題した石坊があり、石坊の西側に生えている5本の樹齢の長い松の老木は五大夫松、または秦松と称されている。『史書』の記載によれば、秦の始皇帝が泰山登頂の途上、雨に遭ったので松の下に雨避けをした。気持ちがよくなった秦の始皇帝は、褒美としてこの松に「五大夫」の爵位を下賜した。後世になって、あたりの5本の松も同じ爵位を賜ったと誤って伝えられた。明・万暦年間(1573-1620)、松は落雷で壊されてしまった。清・雍正年間(1723-1736)、欽差の丁皂が敕令を奉じて石坊を修繕したとき、5本の松の木を植えた。このうちの2本は現在まで生い茂り、「秦松挺秀」として称えられて、「泰安古八景」の1つとなっている。五松亭の傍らには乾隆帝の手書きによる「詠五大夫松」の摩崖石刻がある。五大夫松の西、排住山の崖には、手を挙げて来客を歓迎するように、枝を伸びている松の老木がある。泰山のシンボルマークの1つで有名な迎客松である。


五大夫松

岱廟全景

黒竜潭

泰山西渓百丈崖のふもとにある。長年、飛び落ちた滝にさらされてできた深い淵である。神話伝説の中の東海竜宮と相通じている言い伝えから名づけられたもの。清代の名士・繆潤絨は、「真の源流れて枯れず、飛び降りる最高の峰、俯注して千尺の潭となり、深く隠れて若しかすると竜あり」を書いてこれを称賛した。「竜潭飛瀑」として泰山西渓観光の目玉となっている。潭の西と西南にはそれぞれ西百丈崖と南百丈崖がある。夏や秋の増水期になると、滝は3筋の水簾になって、轟音を立てながら飛び落ち、「雲流三現」と称された景観をつくりあげている。黒竜潭の東南にある石づくりの亭は、西渓亭と称されており、門柱には、清・光緒年間(1875-1905)の泰安の地方長官である知府・玉構が書いた「竜躍九霄、雲騰致雨、潭深千尺、水不揚波」対聯がある。

岱　廟

泰安市のメーンストリート・東岳大街の中段にある。古は「東岳廟」と称され、俗は「泰廟」と称される道教の寺である。歴代の帝王が封禅の式典と泰山祭祀を行う場所と、泰山でも最も大きくて最も完全な形に保たれた古代建築群である。皇居の様式に築造されており、祠廟建築の中では最高規格のもの。泰安市を走る中軸線上に立っており、南北は405.7mで、東西の幅は236.7m、総面積は9万6000m²に達している。境内には160部屋以上の古代建築または蘇らせた古代建築がある。廟前には遥参亭、岱廟坊があり、正陽門、配天門、仁安門、天貺殿、後寝宮、厚載門などは中軸線の両側に配されている。東側と西側には、それぞれ漢柏院、東御座、東道院と唐槐樹院、雨花道院などの庭がある。岱廟の歴史は古く、資料の記載によれば、秦の時代に既に天の神様を祭る場所が設けられた。漢の時代には宮殿が建てられ、その後の歴代にも増改築があった。岱廟は歴代の帝王が天の神様を祭る場所だけ

公演中の泰山「激情の夜」

土産物商店

でなく、文化財が集まっているところでもある。ここには歴代の帝王が泰山の神を祭るときに残った数多くの祭祀道具や供え物もあれば、歴史文物と革命文物も数多く出土している。このうち、岱廟に保管されている 176 枚の歴代の碑刻、漢画、石像などは特に珍しい。

観光のイベント

国際泰山登頂祭

時間： 毎年 9 月上旬

場所： 泰安市

内容： 泰山登頂コンクール、文芸の公演の鑑賞、観光土産取引会や経済貿易相談会の開催など。

味　覚

山東料理は香しさ、まろやかさと純粋な味を持つことで有名で、1 つの料理には 1 つの味があり、原材料の持ち味を大切にしている。泰山の「豆腐のフルコース」は歴史が古く、泰山詣でに来ていた歴代の帝王もここの「精進料理」を主とした。豆腐のフルコースは、150 以上の料理から構成されているという。

伝統料理： 黄河鯉のお酢かけ、そそりの揚げ物、徳州の 5 種香味ニワトリ、殻付きアワビ、博山豆腐などがある。

風味軽食： 泰安煎餅、醤包瓜、醤磨茄、泰山ナツメ、周村焼き餅、ジャガイモの焼き物など。

ショッピング

工芸美術品： 碑帖、漢画拓片、墨玉石彫、壁画の模造品、燕子石硯、錫彫刻、羽毛画、草編み物、葦製品、彩色絵を施した卵殻、銀銀のアクセサリーなどがある

特産品： 漢方生薬の何首烏、四葉参、紫草と黄精、泰山サン

主要レストラン

店　名	場　所	電話(局番は 538)
微山湖魚館(泰安店)	泰安市岱宗大街東側	6310066
海霸王大酒店	泰安市龍潭路 46 号	8281669
泰山鴻運起飯店	泰安市東嶽大街新しいバスターミナル	8223988
先河湘江食府	泰安市霊山大街 28 号	6625029
禦碑楼大酒店	泰安市泰前大街西側	8481251
吉祥飯荘	泰安市岱廟北門紅門路 2 号	8334618
益園名吃広場	泰安市岱宗大街 132 号	8228323

主要ショッピング・センター

店　名	場　所	電話(局番は 538)
泰山市百貨股份有限公司	泰安市青年路 28	8223432
泰安市泰山商場股份有限公司	泰安市龍潭路 2 号	8228607
泰安市璞玉陶芸研究製造センター	泰安市紅門路 21 号	8208500
泰安市文物店	泰安市紅門路 2 号	8229575
泰安市斉魯商業大廈	泰安市岱宗大街 247 号	8228109
泰安市双龍ショッピング・センター	泰安市升平街 11 号	8331244
泰安市華聯商廈	泰安市東嶽大街 6 号	8227023
泰安市泰山百貨大廈	泰安市青年路 48 号	8335687

「芙蓉豆腐」

「糖醋鯉魚」（鯉の甘酢あんかけ）

草編み工芸品

サンザシ

ナシ

泰山の霊芝

ザシ、泰山レイシ、泰山胡桃、肥城のモモ、赤鱗魚、泰山クリ、寧陽ナツメ、泰山アンズ、紅星リンゴなど。

交　通

航空： 済南の遥墻国際空港は、泰安市街までは約 80km の距離がある。済南から泰安までは、汽車もバスも 1 時間以内で到着できる。

鉄道： 泰安駅は京滬線(北京―上海)上にあり、ここを通る列車は毎日にも 86 以上を数え、ここから乗車すれば中国の各主要都市と港に到着できる。泰安と青島間は 1 日 1 往復の旅客列車がある。

道路： 泰安のハイウェーは発達である。京滬(北京―上海)、京福(北京―福州)、泰博(淄博方向へ)の 3 つの高速道路は泰安で交差して走っており、泰安から青島、済南、曲阜、煙台、威海などの港湾都市までも高速道路がある。

市内交通： 観光バス(駅―天外村―中天門間の 1 線)。上がりは 13 元で、下りは 11 元。観光バス(駅―桃花峪―桃花源ロープウェー間の 2 線)。上がりは 13 元で、下りは 11 元。タクシーの起算料金は 6 元で、2km 後は 1km ごとに 1.5 元の加算で徴収する。

主要レクリエーション・センター

店　名	場　所	電　話
陽光ホリデー・レジャークラブ	泰安市岱宗大街 259 号	538-8285555
好兄弟足部推広中心(SPA)	泰安市東嶽大街 15 号	538-8278528
済南長鴻ボーリング館	済南市中区石棚街 18 号	531-6027554
済南勁東健康ビューティ・クラブ	済南市篇下区文化東路 54 号	531-2914692
済南国際クラブ	済南市北源大街 488 号	531-8592668

一部のホテル

店　名	クラス	場　所	電話(局番は 538)
泰山華僑大廈	★★★	泰安市東嶽大街中段	8228112
泰山賓館	★★★	泰安市紅門路 26 号	8224678
泰山市神憩賓館	★★★	泰安市泰山天街 10 号	8223866
泰安大酒店	★★★	泰安市岱宗大街	8227122
金山リゾート村	★★★	泰安市環山路 137 号	8225354
労働大廈	★★★	泰安市東嶽大街中段	8331888
金海大酒店	★★★	泰安市迎瞻大街 96 号	8228899
東方大酒店	★★★	泰安市龍潭路 65 号	6215159
虹橋賓館	★★★	泰安市迎賓館大道	8412111

主要旅行社

店　名	場　所	電話(局番は 538)
山東泰山中国国際旅行社	泰安市紅門路 22 号	538-8277179
山東泰安中国旅行社	泰安市東嶽大街 15 号	538-8214472
山東旅遊公司	済南市泉城路 180 号	531-6025270
山東中国国際旅行社	済南市経十路 80 号	531-2962750
山東中国旅行社	済南市千仏山東 2 路 9 号	531-2966704
山東中国青年旅行社	済南市英雄山路 2 号	531-2066806
山東康輝国際旅行社	済南市玉函路 35-2 号	531-2073001

全国統一の特種サービス電話

中国国際電話頭番号:0086	警察通報先:110	交通事故通報先:122
市内電話番号案内:114	国内長距離電話予約:113	国際電話予約:115
火事通報先:119	救急センター:120	天気予報:12121

中国地図における泰山

中国国家観光局（東京）

東京都港区虎ノ門 2-5-2 エアチャイナビル 8F
郵便番号：105-0001
電話：03-3591-8686
ファックス：03-3591-6886

中国国家観光局大阪事務所

大阪市浪速区湊町 1-4-1OCAT ビル 4F
郵便番号：556-0017
電話：06-6635-3280
ファックス：06-6635-3281

中華人民共和国国家観光局

アドレス：北京市建国門内大街甲 9 号
電話：0086-10-65201114
ファックス：0086-10-65122096
ホームページ：http://www.cnta.gov.cn

CHINA TOURISM

中國旅游

泰山

中华人民共和国国家旅游局
CHINA NATIONAL TOURISM ADMINISTRATION

ご覧いただきありがとうございます！